

# 陽性者7割 2回接種済み

## 県内、オミクロン確認後

県内で新型コロナウイルスの新変異株「オミクロン株」が確認され、以降、陽性者の7割がワクチンの1回接種を終えていた」というが、県への取材で分かった。ワクチン効果が低下している可能性もあり、県は早期の1回接種を呼び掛けている。=●面接照

### 新型コロナ

県によると、五・十七日  
発表の陽性者は計五百一十

人で、三百八十八人（74・6%）がワクチンの1回接種を完了していた。三人は三回目を終えていたものの、接種から一週間が経過しておらず、十分な効果が得られる状態ではなかった。

### 重症化防ぐ効果期待

さて、重症化予防の効果も期待されている」とから、県の担当者は「重症化リスクの高い高齢者や基礎疾患のある人たちは、特に三回目接種を早期に受けたい」と語る。

## 潜伏期間28日 オミクロンの

台せきが48・3%、頭痛が31・8%と続く。一方で味覚障害は1・2%にとどまる。年齢別では若者の感染者が多く、二十代が最多の31・4%。十三代で六割を占めている。

県健康福祉部の宮下裕文副

県は十七日、新型コロナウイルスの新変異株「オミクロン株」の感染者、感染疑いのある人の集計結果を発表した。感染したとみられる日から発症までの潜伏期間は平均二・八日で、デルタ株が主流だった第五波の三・九日より一日短いことが分かった。

県内でオミクロン株の初感染者が出て一月五日以後であ

## デルタより1日短く

とめた。デルタ株陽性となつた感染者のうち三百三十六人の潜伏期間を調べた結果、最も多かったのが三日で36・0%。次いで二日が30・9%となつた。最長は五日。

県は「飲み会に行つた」「県外に出掛けた」といった行動があった日から五日後までに発熱や喉の痛みが出る」と感染後のイメージを伝え、「症状が出たら早めに受診していただきたい」と呼び掛けている。

（長谷川寛之）

県は十七日、新型コロナウイルスの新変異株「オミクロン株」の感染者、感染疑いのある人の集計結果を発表した。感染したとみられる日から発症までの潜伏期間は平均二・八日で、デルタ株が主流だった第五波の三・九日より一日短いことが分かった。

県内でオミクロン株の初感染者が出て一月五日以後であ

とめられた。デルタ株陽性となつた感染者のうち三百三十六人の潜伏期間を調べた結果、最も多かったのが三日で36・0%。次いで二日が30・9%となつた。最長は五日。

県は「飲み会に行つた」「県外に出掛けた」といった行動があった日から五日後までに発熱や喉の痛みが出る」と感染後のイメージを伝え、「症状が出たら早めに受診していただきたい」と呼び掛けている。

（長谷川寛之）

とめられた。デルタ株陽性となつた感染者のうち三百三十六人の潜伏期間を調べた結果、最も多かったのが三日で36・0%。次いで二日が30・9%となつた。最長は五日。

県は「飲み会に行つた」「県外に出掛けた」といった行動があった日から五日後までに発熱や喉の痛みが出る」と感染後のイメージを伝え、「症状が出たら早めに受診していただきたい」と呼び掛けている。

（長谷川寛之）

とめられた。デルタ株陽性となつた感染者のうち三百三十六人の潜伏期間を調べた結果、最も多かったのが三日で36・0%。次いで二日が30・9%となつた。最長は五日。

県は「飲み会に行つた」「県外に出掛けた」といった行動があった日から五日後までに発熱や喉の痛みが出る」と感染後のイメージを伝え、「症状が出たら早めに受診していただきたい」と呼び掛けている。

（長谷川寛之）